

# 令和 7 年度 事業報告書



## 【 目 次 】

I. 日本赤十字社神奈川県支部	1
II. 神奈川県ライトセンター	8
III. 横浜市立みなと赤十字病院	12
IV. 秦野赤十字病院	15
V. 相模原赤十字病院	17
VI. 神奈川県赤十字血液センター	19
VII. 神奈川県内赤十字施設 決算概要	23

(別冊) 日本赤十字社神奈川県支部事業報告データ集 (令和7年度版)



# I. 日本赤十字社神奈川県支部

赤十字が担うべき役割を果たすべく、第4期中期事業計画（令和5年度～7年度）に基づき事業を展開しました。また、同計画における到達目標を達成するため、事業の拡大に取り組みました。

## 1. 令和7年度の主な取り組み

### (1) 災害救護事業

- 日々変化する災害救護業務に対応すべく、様々な研修・訓練を行い、救護員を育成するとともに、効果的な救護活動が行えるよう救護資機材の整備を行いました。
- 地域住民が自ら災害から命を守り心身の苦痛を軽減する、防災教育事業（赤十字防災セミナー）を開催しました。

#### ア. 災害救護要員の養成・強化（重点施策1）

（ア）本社・近隣支部との会議・研究会	9回
（イ）訓練・各種研修会等の実施及び参加	21回
	334人

#### イ. 救護資機材の整備（重点施策1）

（ア）救護活動用車両	3台
（イ）トリアージタッグ	400枚
（ウ）ライティングシート	40本
（エ）非常食	206箱
（オ）保存水	1,272本
（カ）救護活動用タブレット	9台
（キ）地区・分区への災害救援車配備（助成）	4地区・分区 4台
（ク）スターリンクの設置	3施設

#### ウ. 防災・減災思想の普及・地域での取り組み支援（重点施策2）

（ア）赤十字防災セミナー	70回	2,126人
（イ）赤十字防災教育事業指導者養成研修	1回	40人

#### エ. 県内援護事業等の実施

（ア）災害見舞金	211世帯	
（イ）援護物資	173セット	
（ウ）重傷見舞金	11人	
（エ）死亡弔慰金	35人	
（オ）床上浸水見舞金	89世帯	
（カ）臨時救護事業	24回	25人

オ. 国内災害義援金の受付

(ア) 県内受付

772 件

32,631,388 円



(2) 健康・安全事業

○赤十字救急法等講習の普及に努め、県内すべての地域で講習が開催されるよう働きかけを行いました。

○講習普及における指導体制の強化を図るため、幼児安全法指導員養成講習を開催しました。

ア. 健康・安全事業の推進（重点施策 3）

(ア) 救急法

基礎講習 147 回 2,846 人

救急員養成講習 54 回 1,192 人

短期講習 537 回 14,035 人

(イ) 水上安全法

救助員Ⅰ養成講習 17 回 232 人

救助員Ⅱ養成講習 1 回 7 人

短期講習 95 回 2,902 人

(ウ) 健康生活支援講習

支援員養成講習 9 回 110 人

短期講習 85 回 1,883 人

(エ) 幼児安全法

支援員養成講習 14 回 228 人

短期講習 158 回 2,751 人

(ア)～(エ) 合計 1,117 回 26,186 人

イ. 健康・安全思想の普及を目的としたイベント等の開催

(ア) 赤十字救急法競技会

参加人数 507 人

参加チーム数 47 チーム

(イ) 地域イベントへの体験ブース出展

4 回 1,781 人

ウ. 普及体制の強化

(ア) 幼児安全法指導員養成講習

1 回 18 人

(イ) 救急法等指導員研修会

1 回 456 人

(ウ) 救急法等指導員勉強会

2 回 120 人

(エ) 救急法等指導員資格継続適正審査

9 回 148 人

エ. 地区・分区で主催する講習会の増加促進（重点施策3）

（ア）新たな講習促進モデル地区・分区の選定	5 地区・分区	
（イ）新たな講習促進モデル地区・分区での開催	5 回	500 人

オ. 他団体との協働事業の推進

（ア）神奈川県警察	2 回	81 人
（イ）一般社団法人神奈川県指定自動車教習所協会	1 回	46 人
（ウ）東日本旅客鉄道株式会社（JR 東日本）	11 回	199 人
（エ）一般社団法人神奈川県バス協会	2 回	83 人
（オ）独立行政法人都市再生機構（UR 都市機構）	3 回	75 人



(3) 国際活動

○開発協力事業の活動資金支援や青少年赤十字国際交流事業などの国際活動に取り組みました。

ア. 国際救援・開発協力

（ア）国際救援要員・開発協力要員の養成		0 人
（イ）国際活動事業地への支部職員の派遣	インドネシア	1 人
（ウ）救急法普及支援（ラオス）	活動資金支援	2,000,000 円
（エ）防災強化事業（インドネシア）	活動資金支援	1,500,000 円
（オ）保健支援事業（モンゴル）	活動資金支援	1,500,000 円

イ. 安否調査

（ア）離散家族等の安否調査		0 件
---------------	--	-----

ウ. 国際交流事業

（ア）シンガポール赤十字社とのオンライン交流	5 校	10 人
（イ）アメリカ赤十字社（横須賀）との交流	6 校	17 人

エ. 海外救援金の受付

（ア）県内受付	353 件	9,060,191 円
---------	-------	-------------



#### (4) 赤十字奉仕団・赤十字ボランティア

○充実した活動につながる階層別研修会を開催し、奉仕団の活動促進、奉仕団相互の連携強化に努めました。

##### ア. 赤十字奉仕団相互の連携強化及び活動促進（重点施策 8）

（ア）支部委員会・連絡協議会等の開催	14 回	232 人
（イ）本社・第 2 ブロック支部行事への参加	9 回	9 人
（ウ）赤十字奉仕団交流会	3 回	147 人
（エ）奉仕団等の区域を超えたボランティアの協力体制構築		

##### イ. 赤十字奉仕団員・赤十字ボランティアの育成・支援

（ア）奉仕団活動への助成		33 団
（イ）視覚障害援助関係奉仕団への資機材貸与		9 団
（ウ）奉仕団の充実した活動に繋がる研修	37 回	392 人

##### ウ. 赤十字防災ボランティア活動体制の推進・強化（重点施策 8）

（ア）赤十字防災ボランティア養成等研修会（本社主催含む）	9 回	82 人
（イ）社会福祉協議会との今後の連携に向けた会議・訓練	4 回	13 人

##### エ. ボランティアの事業参画の促進

（ア）講習普及事務協力ボランティア	2 回	53 人
（イ）赤十字防災セミナー及び防災教育プログラムへのボランティア協力	33 回	53 人
（ウ）学校で行う健康安全プログラムへのボランティア協力	65 回	364 人



## (5) 青少年赤十字

○学校での健康安全プログラムや防災教育の推進を通して、更なる青少年赤十字の普及を図りました。

### ア. 令和7年度青少年赤十字登録状況

(ア) 登録校数	141校	前年度比+27校
(イ) 校種別内訳		
・幼稚園・保育園	6園	前年度比 ±0校
・小学校	33校	前年度比 +12校
・中学校	40校	前年度比 +15校
・高等学校	38校	前年度比 +4校
・中学校・高等学校	14校	前年度比 -6校
・特別支援学校	10校	前年度比 +2校

### イ. 青少年赤十字の普及・増強（重点施策4）

(ア) 青少年赤十字登録促進・青少年赤十字メンバー増強		
・校長会、研修会等での積極的なPR		11回
(イ) 青少年赤十字指導者の養成、教員を対象とした研修等		
・教職員対象青少年赤十字スキルアップ講習会	1回	13人
・『まもるいのちひろめるぼうさい』活用講座	1回	14人
・神奈川県立総合教育センター主催教職員対象研修講座	2回	34人
・神奈川県青少年赤十字指導者協議会関連会議の開催	5回	37人
・連絡協議会等への運営費助成等		1地区

### ウ. 青少年赤十字の事業・活動

(ア) 健康安全プログラムの実施	26校	65回	3,479人
(イ) 防災教育プログラムの実施	12校	13回	1,707人
(ウ) 国際人道法研修会	6校	1回	15人
(エ) リーダーシップ・トレーニング・センター（LTC）の 新たな会場での開催		2回	50人
(オ) 青少年赤十字登録式	0校		0人
(カ) 人権教育講演会	0校		0人
(キ) 国際人道法講演会	1校		317人
(ク) キャリア教育	0校		0人



## (6) 赤十字思想の普及

- SNS を用いた情報発信強化のため、SNS キャンペーンを実施し、フォロワーを獲得しました。
- 前年度に引き続き、赤十字の活動を紹介する新聞折込チラシを約 150 万部配布しました。
- 赤十字事業への理解を子どもたちにも広げるため、夏休み中のイベントの回数を増やし、「水の事故防止編」も新たに実施しました。また、かながわ赤十字情報プラザをリニューアルし、更なる周知を図りました。

### ア. 赤十字運動月間キャンペーンの横断的な展開（重点施策 6）

(ア) レッドライトアッププロジェクト	14 施設
(イ) 公共交通機関の協力による広報	2 社    78 駅

### イ. 広報活動の促進・強化（重点施策 5・7）

(ア) 新聞折込チラシ	7 紙	1, 486, 502 部
(イ) SNS 等による情報の発信		
・フォロワー		15, 639 人
・発信回数		625 回
(ウ) 「かながわ赤十字情報プラザ」見学	66 団体	2, 328 人

### (エ) 夏季イベント「赤十字 de 自由研究 “いのち” を守る体験教室」

・水の事故防止編（着衣泳やレスキューボード体験等）	2 回	61 人
・赤十字の仲間になろう編（心肺蘇生や無線通信体験等）	12 回	341 人
(オ) 地域まつりへの赤十字ブースの出展		9 回
(カ) 大学での国際人道法講義	1 回	40 人

### ウ. 組織基盤の強化（重点施策 6）

(ア) 県内赤十字施設が協働した広報活動（広報委員会等の実施）	5 回
(イ) マスメディアとの連携強化	
・プレスリリース発出	29 件
・新聞・タウン誌等掲載	13 回
・テレビ・ラジオ報道・出演	2 回

(ウ) 神奈川県日赤紺綬有功会との連携強化

・ 赤十字活動資金への協力（下記使途指定寄付を含む）	42,872,348 円
・ 使途指定寄付への協力（神奈川県赤十字血液センターに対する支援）	1,695,000 円

エ. 企業・赤十字が連携する CSR 活動の推進（重点施策 6）

(ア) 寄付金付自動販売機 新規設置	9 社	10 台
(イ) 赤十字支援マーク 新規活用		4 社



## II. 神奈川県ライトセンター

視覚障がい者のための総合的な福祉施設として、指定管理業務である 5 つの事業を積極的に行いました。

視覚障がい者の読書ニーズに応えるために、点字や録音図書の製作をボランティアの協力を得て引き続き進めました。

視覚障がい者に有用な情報を提供するとともに、ライトセンター事業やボランティア活動の理解を深める場として「ライトセンターオープンデー」（施設公開）を視援奉（神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団）と共催しました。

### 1. 令和 7 年度の運営について

○令和 7 年度は、次期指定管理者への運営移行に配慮しつつ、指定管理事業として定める①情報提供事業、②指導訓練事業、③スポーツ振興事業、④ボランティア育成事業、⑤普及啓発事業の推進に努めました。

#### (1) 情報提供事業

##### ア. 登録者数

（ア）利用登録者数	2,602 人
（イ）新規登録者	77 人

##### イ. 蔵書数の状況

	令和 6 年度	令和 7 年度	増減
点字図書	22,598 冊	22,953 冊	355 冊
デージー図書	6,826 巻	7,009 巻	183 巻
拡大図書	192 冊	195 冊	3 冊
合計	29,616	30,157	541

##### ウ. ボランティア製作図書数

	令和 6 年度	令和 7 年度	増減
点字図書	349 冊	353 冊	4 冊
デージー図書	136 巻	119 巻	▲17 巻
拡大図書	1 冊	3 冊	2 冊
テキストデージー	22 巻	22 巻	0 巻
合計	508	497	▲11

エ. 製作貸出状況

		点字図書	デイジー図書	合計
図書貸出数	令和6年度	1,185	27,073	28,258
	令和7年度	1,006	24,277	25,283
	対前年度	▲179	▲2,796	▲2,975
サピエダウンロード タイトル数	令和6年度	4,302	1,673	5,975
	令和7年度	4,023	1,476	5,499
	対前年度	▲279	▲197	▲476
サピエ 実利用人数	令和6年度	1,400	964	2,364
	令和7年度	1,339	1,054	2,393
	対前年度	▲61	90	29
サピエ 延べ利用人数	令和6年度	14,242	6,637	20,879
	令和7年度	15,093	7,519	22,612
	対前年度	851	882	1,733

※点字図書全体の利用は減少傾向が続いている。

オ. 定期刊行物の製作・発行および貸出

	種別	種類	配布・貸出部数
自館発行	点字図書	6種類	3,830
	デイジー図書	15種類	17,102
	墨字版	3種類	8,767
	計	24種類	29,699
他団体発行	点字図書	12種類	774
	デイジー図書	84種類	7,731
	計	96種類	8,505

(2) 指導訓練事業

ア. 相談・訓練の状況

項目（人数・件数）		令和6年度	令和7年度	増減
相談・訓練件数		3,062	3,586	524
相談・訓練実人数	視覚障がい者	654	689	35
	晴眼者	178	102	▲76
電話相談件数		1,602	1,725	123
訪問相談・訓練件数		269	288	19
来所相談・訓練件数		528	683	155
オンラインによる相談件数		0	2	2

イ. 年代別対応人数

年齢	0～5	～10	～20	～30	～40	合計
人数	1人	1人	6人	6人	10人	689人
年齢	～50	～60	～70	71～	不明	
人数	36人	63人	50人	132人	384人	

ウ. 技術講習会・教養講座の開催

(ア) 教養講座・技術講座 3回 45人

エ. 利用者交流広場の開催

(ア) ライトセンターサロン・ライトなんでもアリーナ（オンライン含む） 18回 321人

(3) スポーツ振興事業

ア. 登録者・利用者数

(ア) 利用登録者数 397人

(イ) 新規登録者 29人

(ウ) 利用者数 8,040人

イ. スポーツ教室等

(ア) ライトセンター会場のスポーツ教室

・いきいき筋力アップ教室 12回 160人

・ローインパクトエアロビクス教室 12回 103人

(イ) 県立スポーツセンターを会場とした水泳教室 11回 160人

(ウ) 地域スポーツ振興（相模原市・小田原市） 2回 117人

(4) ボランティア育成事業

ア. 神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団登録実人数 496人

イ. ボランティア来館活動日数・人数

活動日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	25日	24日	25日	27日	27日	23日	299日
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	27日	25日	24日	24日	23日	25日	
活動人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
	1,594人	1,272人	1,328人	1,485人	932人	1,289人	15,957人
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	1,550人	1,439人	1,222人	1,233人	1,240人	1,373人	

ウ. 各種ボランティア養成講座の実施

(ア) 入門講座	4回	140人
(イ) 点訳講座	1回	8人
(ウ) 録音講座 (基礎)	1回	12人
(エ) 録音講座 (応用)	1回	11人
(オ) 誘導法講座	2回	16人
(カ) 拡大写本講座	1回	7人
(キ) スポーツ&レクリエーションボランティア講座	1回	10人
(ク) デジタル録音編集講座	1回	8人
(ケ) ITサポートボランティア講座	1回	7人
(コ) 点訳図書校正講座	1回	6人
(サ) 指導者養成講座	1回	36人
(シ) 特殊点訳講座 (楽点)	1回	6人
(ス) 点字指導法講座	1回	5人

(5) 普及啓発事業

ア. 機関紙「ライトセンターだより」の発行	
イ. 施設公開「ライトセンターオープンデー」の開催	640人
ウ. 福祉教室の開催	21回 549人

(6) 指定管理の状況

- ・令和3年度から令和7年度までの5年間「第4期指定管理」を満了し、運営を終了。
- ・平成5年から30年経過した庁舎設備の老朽化が進んでおり、県と調整を行いながら修繕を行った。

### Ⅲ. 横浜市立みなと赤十字病院

横浜市立みなと赤十字病院は、「人道・博愛の赤十字精神」のもと、患者の権利を尊重した良質で高度な医療を提供し、市民の健康増進に貢献しています。



#### 1. 病院概要等

##### (1) 病床数

許可病床	624 床
一般	584 床
精神	40 床

##### (2) 入院・外来患者数

	入院	外来
年間延べ患者数	185,125 人	277,149 人
1日あたりの患者数	507.2 人	1,145.2 人
病床利用率	81.3%	-
診療単価	97,536 円	19,766 円

##### (3) 診療科

内科、内分泌内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ科、緩和ケア内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、脳神経内科、アレルギー科、精神科、小児科、外科、消化器外科、大腸外科、肝臓外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、

放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

計 36 科

##### (4) 医療社会事業

項目	人数
人間ドック	2,637 人
母親教室	392 人
乳幼児健診	396 人
栄養相談	6,432 人
妊産婦検診	4,500 人
糖尿病教育入院栄養指導	135 回 135 人
企業健診	223 人

一般健診		154 人
ガン検診		5,753 人
横浜市健康診査		641 人
横浜市国保特定健診		1,234 人
被爆者健診		49 人
福島県民健康調査		5 人
特定保健指導		42 人
予防接種		734 人
救急法講習	6 回	71 人
健康生活支援講習	2 回	34 人
こころのケア研修会	3 回	34 人
地域の医療従事者に対する研修（みなとセミナー等）	23 回	895 人
市民健康講座	5 回	466 人
関節リウマチ教室	5 回	113 人
成人喘息アレルギー教室	3 回	68 人
喘息相談	54 回	54 人
小児喘息教室	3 回	80 人
食物アレルギー研修	27 回	648 人
糖尿病講座等	7 回	126 人
腎臓病教室	1 回	42 人

## 2. 令和7年度の主な取り組み

### (1) 収入確保

- ア. 紹介患者の確保（地域医療施設との連携強化、「強み」のアピール等）
- イ. 救急患者の受入れ（患者搬送サービス推進、脳神経系による集患強化等）
- ウ. 患者サービスの向上（後払いシステム・予約システム運用等）
- エ. PFM（Patient Flow Management）の円滑化（入退院支援センターの機能体制強化等）
- オ. 診療単価の向上

〔 手術件数 6,909 件（前年度比 230 件・3.4%増）、  
新入院患者数 16,898 人（前年度比 114 人・0.7%増） 〕

### (2) 費用抑制

- ア. 材料費への対策（NHAを通じた共同購入の準備）
- イ. 給与費への対策（業務効率化・合理化による時間外勤務抑制等）
- ウ. 委託費への対策（委託内容の見直し（仕様変更等）等）
- エ. 設備関係費への対策（医療機器の整備の適正化・厳格化等）

オ. 経費への対策（水道光熱費の抑制等）

### (3) その他

- ア. 指定管理問題への対応
- イ. 電子カルテシステムの更新
- ウ. 救急外来環境改善工事の実施
- エ. 自動搬送ロボットの運用開始
- オ. 健診センターの拡張移設
- カ. 2026～2028 年度中期事業計画の策定
- キ. 2026 年度診療報酬改定を踏まえた対応



## IV. 秦野赤十字病院

秦野赤十字病院は、開院以来、秦野市の基幹的医療機関として地域の急性期医療を担ってきました。今後も安全で質の高い医療を提供し、地域医療に貢献します。

### 1. 病院概要等

#### (1) 病床数

許可病床	296 床	実働病床	230 床
急性期	243 床	急性期	177 床
地域包括ケア	47 床	地域包括ケア	47 床
HCU	6 床	HCU	6 床

#### (2) 入院・外来患者数

	入院	外来
年間延べ患者数	73,092 人	107,745 人
1日あたりの患者数	200.3 人	445.2 人
病床利用率	82.3%	-
診療単価	65,354 円	15,759 円

#### (3) 診療科

内科、脳神経内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、形成外科、皮膚科、救急科

計 20 科

#### (4) 医療社会事業

項目	人数
人間ドック	3,581 人
訪問看護	4,012 回 166 人
乳幼児健診	50 人
栄養指導	2,667 人
企業健診	193 人
一般健診	28 人
被爆者健診	3 人
福島県民健康調査	6 人
ガン検診	1,086 人

成人（高齢者）健診		377 人
予防接種		882 人
救急法講習	2 回	49 人
健康生活支援講習	1 回	9 人
幼児安全法講習	1 回	23 人

## 2. 令和7年度の主な取り組み

### (1) 病院運営

- ア. 本社「グループ重点支援病院」
- イ. 経営の健全化
  - ・SWOT 分析会の開催
  - ・病床再編の実施(1 病棟削減)
  - ・ベッドコントロールの強化
  - ・病床高稼働への転換
  - ・地域包括ケア病棟の活用
  - ・訪問看護ステーションの運営強化



### (2) 地域医療連携の強化

- ア. はだの病病連携の会開催
- イ. 地域医療連携懇話会開催
- ウ. 地域医療従事者研修の実施
- エ. 検査予約システム(ワクトル)導入
- オ. 地域連携パス(大腿骨頸部骨折)導入

### (3) 強化事業等

- ア. 総合防災訓練の実施
- イ. 東部ブロックスポーツ大会の開催
- ウ. 健診施設機能評価の施設認定
- エ. 患者満足度調査の実施



## V. 相模原赤十字病院

相模原赤十字病院は、相模原市西部地域唯一の公的医療機関として地域医療のニーズに応えるとともに、エイズ治療拠点病院・災害医療拠点病院としての活動、健康増進事業・訪問看護ステーション業務など医療事業の一層の充実・強化に取り組んできました。

相模原市西部地区は、市内において著しく高齢化が進む地域とされており、地域包括ケアシステムと相模原市の地域医療構想を踏まえた病院の在り方を検討し、一病棟を地域包括ケア病棟に転換しています。

### 1. 病院概要等

#### (1) 病床数

許可病床	132 床
一般	92 床
地域包括ケア	40 床

#### (2) 入院・外来患者数

	入院	外来
年間延べ患者数	35,112 人	79,891 人
1日あたりの患者数	96.2 人	299.2 人
病床利用率	72.9%	-
診療単価	49,682 円	12,000 円

#### (3) 診療科

内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、腎臓内科、外科、乳腺外科、  
肛門外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、小児科、眼科、婦人科、  
精神科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科 計 21 科

#### (4) 医療社会事業

項目	人数
人間ドック	570 人
訪問看護	3,610 人
乳幼児健診	588 人
小児健診	642 人
栄養相談	324 人
糖尿病教室	18 人

企業健診		1,647人
一般・成人病健診		1,929人
ガン検診		6,198人
予防接種		1,145人
救急法講習	2回	22人
1日看護体験		12人
こころのケア研修会		6人

## 2. 令和7年度の主な取り組み

### (1) 健全経営の対応

- ア. 二次救急輪番への非常勤医師配置による  
医師の負担軽減
- イ. 内科二次救急当番の増加



### (2) 赤十字事業の普及・救護活動

- ア. 総合防災訓練の実施 (11/29)
- イ. 救急法講習会開催 (7/30、7/31、8/1)

### (3) 付帯施設事業

- ア. 相模原市国保診療所及び相模原市立診療所合計3施設の指定管理継続

### (4) その他

- ア. 出退勤管理システム導入



## VI. 神奈川県赤十字血液センター

血液センターは、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」、及び関係省令に基づき、国、地方公共団体と一体となり血液事業を運営しています。

血液事業は、安全性の向上、安定供給の確保はもちろんのこと、事業者の責務として効率的な事業運営を行うことが求められています。

関東甲信越ブロック血液センターとの一体的な運営、広域的な需給管理を行い、地域連携を強化し、県民の皆さまや医療機関等から信頼される血液事業を展開しました。

### 1. 施設概要等

#### (1) 施設

ア. 神奈川県赤十字血液センター（横浜市港北区）

イ. 湘南事業所（厚木市）

ウ. 献血ルーム（7 施設）

- ・横浜 SKY 献血ルーム（30 ベッド）
- ・横浜 Leaf 献血ルーム（20 ベッド）
- ・かわさきルフロン献血ルーム（20 ベッド）
- ・二俣川献血ルーム（7 ベッド）
- ・みぞのくち献血ルーム（10 ベッド）
- ・海老名献血ルーム（16 ベッド）
- ・クロスウェーブ湘南藤沢献血ルーム（12 ベッド）



## (2) 車両

神奈川県赤十字血液センター	移動採血車	6 台
	血液運搬車	24 台
	広報車・その他	20 台
湘南事業所	移動採血車	5 台
	血液運搬車	16 台
	広報車・その他	12 台

## 2. 令和7年度の主な取り組み

### (1) 採血・供給業務

採血数		供給数	
全血献血	228,390 人	赤血球製剤	224,615 本
成分献血（血漿）	77,745 人	血漿製剤	69,371 本
成分献血（血小板）	41,302 人	血小板製剤	57,310 本
合計	347,437 人	合計	351,296 本

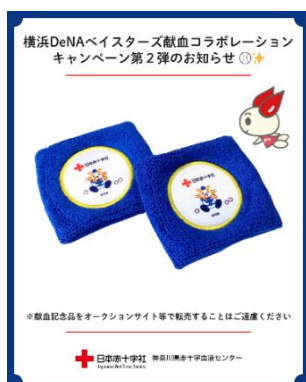
### (2) 献血思想の普及

#### ア. 若年層への献血思想の普及

(ア) 全国統一『THINK！献血』プロジェクトの実施

(イ) プロスポーツチームとのコラボキャンペーン等の実施

(実績) 横浜 DeNA ベイスターズ、横浜 F・マリノス、川崎フロンターレ、  
湘南ベルマーレ、横浜 FC、SC 相模原、Y. S. C. C. 横浜、  
横浜キャノンイーグルス、YOKOHAMA TKM、日立サンディーバ



(ウ) 訴求力のある確保キャンペーンの実施



(エ) はたちの献血キャンペーンの実施

(オ) 学生献血推進団体との広報活動の実施

(カ) 小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学への献血セミナー実施	29 回	4,439 人
(キ) 中学生への職場体験および職業講話の実施	11 回	220 人
(ク) 疑似献血体験イベント・お仕事体験会の実施	6 回	1,081 人

イ. 献血 Web 会員サービス「ラブラッド」会員の確保

(ア) 新規会員	31,287 人	対前年度	+5,696 人
(イ) 成分献血予約率	95.1 %	対前年度	+0.3 ポイント
(ウ) 全血献血予約率	46.3 %	対前年度	+1.9 ポイント

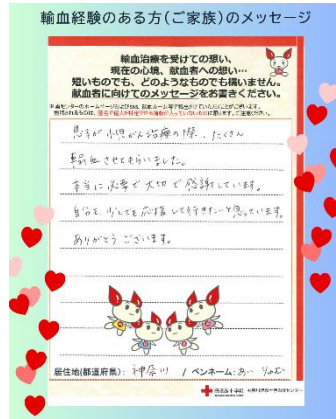
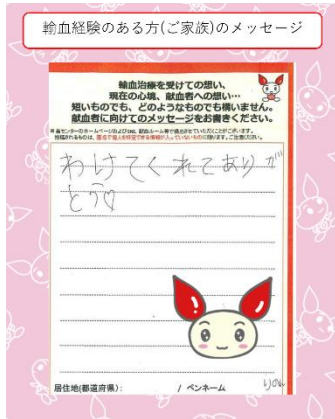
ウ. SNS での情報発信

(ア) X (旧 Twitter)	発信数	3,286 件	対前年度	+230 件
	フォロワー数	24,041 人	対前年度	+3,625 人
(イ) Facebook	発信数	295 件	対前年度	+48 件
	フォロワー数	6,688 人	対前年度	+1 人
(ウ) Instagram	発信数	287 件	対前年度	+94 件
	フォロワー数	1,486 人	対前年度	+354 人

エ. WEB 等を活用した情報発信

(ア) 輸血経験のある方からの感謝メッセージの発信及び募集

・WEB 受信	3 件
・医療機関 (院内ポスト) からの投稿	22 件



オ. お礼メールの発信

(ア) 初回献血者への輸血経験者の声を添えたお礼メールの発信

11, 122 件

(3) 効率的な献血ルームの運営

ア. さらなる献血者確保への基盤づくりとして、8 か所目の献血ルームの新規開所について検討

(4) 働きやすい職場環境の実現

- ア. カスタマーハラスメント対策
  - ・カスタマーハラスメント防止検討部会の設置
  - ・警察 OB による巡回警備業務委託導入
- イ. 熱中症対策
  - ・職場における熱中症対策に関する要綱策定
  - ・熱中症対策緊急連絡体制の構築

(5) 危機事象、不測の事態に強い体制づくり

- ア. 事業継続体制の確保
  - ・ブロックセンターとの定期的な災害対応訓練の実施
  - ・首都直下地震等で直接的な被害を想定したマニュアルの更新
  - ・危機管理マニュアルの更新
  - ・避難場所一覧の作成

## Ⅶ. 神奈川県内赤十字施設 決算概要（令和7年度）

### 1. 一般会計

施設名	収入	支出	収入支出差引額
日本赤十字社神奈川県支部	1,900,845,000 円	1,485,390,366 円	415,454,634 円

※収入・支出ともに、個人住民税対象海外救援金受付分は除いています。

### 2. 社会福祉施設特別会計

施設名	収入	支出	収入支出差引額
神奈川県ライトセンター	435,020,612 円	435,020,612 円	0 円

### 3. 医療施設特別会計

#### (1) 収益的収入及び支出

施設名	収入	支出	収入支出差引額
横浜市立みなと赤十字病院	25,593,426,082 円	25,088,647,466 円	504,778,616 円
秦野赤十字病院	7,249,352,403 円	7,057,306,555 円	192,045,848 円
相模原赤十字病院	3,437,687,450 円	3,324,316,150 円	113,371,300 円
計	36,280,465,935 円	35,470,270,171 円	810,195,764 円

#### (2) 資本的収入及び支出

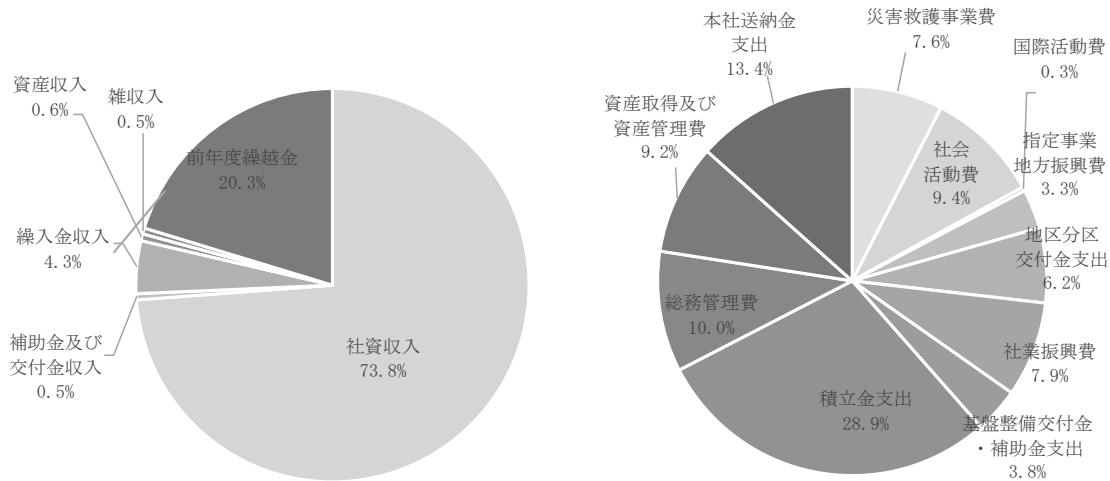
施設名	収入	支出	収入支出差引額
横浜市立みなと赤十字病院	3,422,859,893 円	3,422,859,893 円	0 円
秦野赤十字病院	568,741,079 円	568,741,079 円	0 円
相模原赤十字病院	455,649,836 円	455,649,836 円	0 円
計	4,447,250,808 円	4,447,250,808 円	0 円

# 1. 一般会計

## (1) 日本赤十字社神奈川県支部

収入 1,900,845,000円

支出 1,485,390,366円



※構成比：小数点以下の四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

収入	決算額 (円)	主な内容
社資収入	1,402,938,270	会費、寄付金による収入
補助金及び交付金収入	9,563,070	本社からの交付金収入
繰入金収入	82,324,274	社会福祉施設特別会計繰入金（ライトセンター運営終了に伴う残余資産の繰入金）、国際救護活動資金（救急法普及支援、保健支援、防災強化）、事業準備積立金（施設使用指定寄付金を翌年度に繰り越して執行する際に用いる）
資産収入	10,736,310	物品売却収入
雑収入	9,281,246	講習会等負担金
前年度繰越金	386,001,830	前年度からの繰越金
計	1,900,845,000	

支出	決算額 (円)	主な内容
災害救護事業費	112,160,037	災害救護訓練、防災セミナー、救護資機材の整備などにかかる費用
社会活動費	140,368,882	救急法等の講習普及、赤十字奉仕団活動の推進、青少年赤十字の普及活動などにかかる費用
国際活動費	5,000,000	ラオス救急法普及支援事業、モンゴル保健支援事業、インドネシア防災強化事業にかかる費用
指定事業地方振興費	48,589,917	災害救護用医療機器の整備などにかかる費用
地区区分交付金支出	92,296,000	各市町村における赤十字活動にかかる費用
社業振興費	117,662,483	赤十字思想の普及や会員増強運動、広報活動にかかる費用
基盤整備交付金・補助金支出	55,811,262	医療施設、血液事業の基盤整備にかかる費用
積立金支出	429,756,218	施設整備準備資金、退職給与資金、事業準備積立金などの積立金
総務管理費	148,810,303	職員の給与、社会保険、研修などにかかる費用
資産取得及び資産管理費	136,041,467	支部社屋の維持管理、修繕、損害保険料などにかかる費用
本社送納金支出	198,893,797	本社への繰出金
計	1,485,390,366	

収入支出差引額 (円)	415,454,634
-------------	-------------

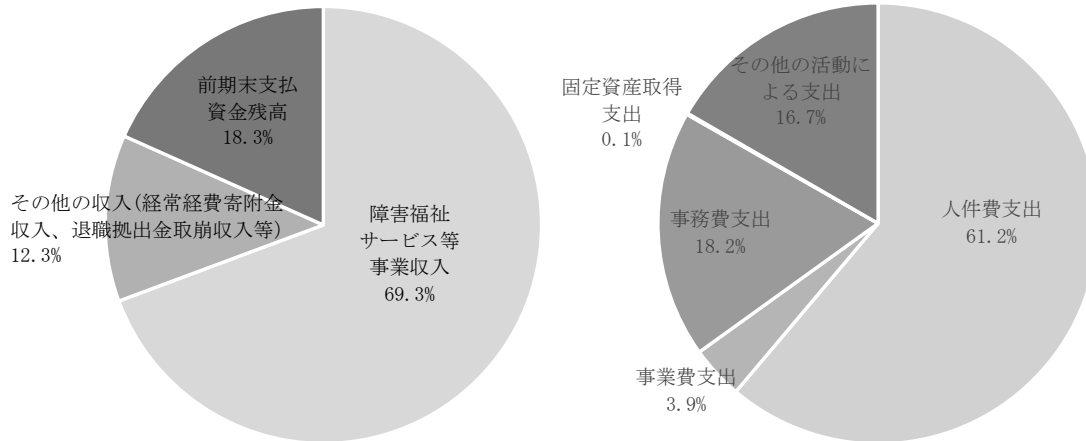
※収入・支出ともに、個人住民税対象海外救援金受付分は除いています。

## 2. 社会福祉施設特別会計

### (1) 神奈川県ライトセンター

収入 435,020,612円

支出 435,020,612円



※構成比：小数点以下の四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

収入	決算額 (円)	主な内容
障害福祉サービス等事業収入	301,639,000	神奈川県からの指定管理料
経常経費寄附金収入	130,981	寄附金収入
その他の収入	5,015,300	選挙公報等製作にかかる収入
その他の活動による収入	48,515,310	退職拠出金取崩収入
前期末支払資金残高	79,720,021	前年度からの繰越金
計	435,020,612	

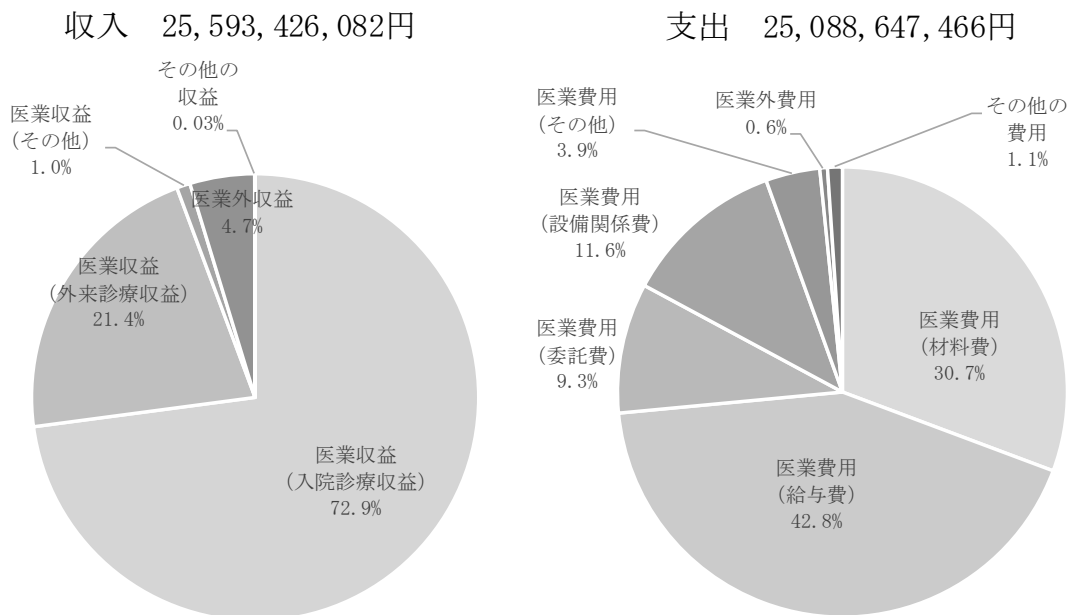
支出	決算額 (円)	主な内容
人件費支出	266,149,368	職員の給与、社会保険料
事業費支出	16,969,514	情報提供事業、指導訓練事業、ボランティア育成事業
事務費支出	78,971,778	施設の維持管理にかかる水道光熱費、業務委託費
固定資産取得支出	425,700	器具、備品取得支出
その他の活動による支出	72,504,252	退職給与資金特別会計への積立金、運営終了にかかる残余資産の繰出金
計	435,020,612	

収入支出差引額 (円)	0
-------------	---

### 3. 医療施設特別会計

#### (1) 横浜市立みなと赤十字病院



※構成比：小数点以下の四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

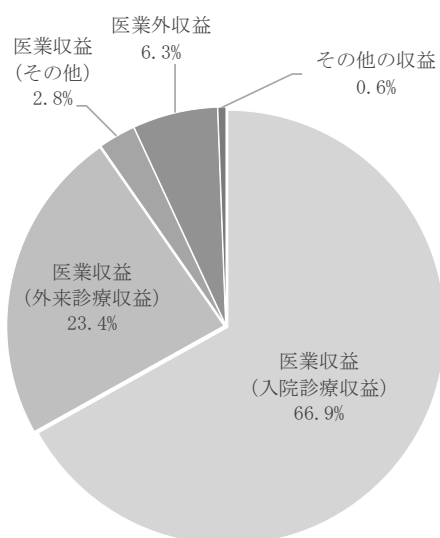
収入	決算額 (円)	主な内容
医業収益	24,386,741,890	診療行為などにかかる収益
入院診療収益 (室料差額収益を含む)	18,659,041,755	入院患者への診療行為にかかる収益
外来診療収益	5,478,188,981	外来患者への診療行為にかかる収益
その他医業収益	249,511,154	健康診断、人間ドックなどの保健予防活動にかかる収益
医業外収益	1,198,418,396	国、県、市などからの補助金収益
その他の収益	8,265,796	支部などからの資機材等の受入による収益、固定資産売却による収益
計	25,593,426,082	

支出	決算額 (円)	主な内容
医業費用	24,683,295,519	診療行為などにかかる費用
材料費	7,701,312,693	医薬品、診療材料などにかかる費用
給与費	10,739,683,932	職員の給与にかかる費用
委託費	2,345,222,802	業務委託にかかる費用
設備関係費	2,919,189,028	減価償却、修繕、保守などにかかる費用
その他経費	977,887,064	水道光熱費、賃借料、消耗品費
医業外費用	138,288,302	支払利息、看護師の養成などにかかる費用、院内保育所関係費
その他の費用	267,063,645	医療社会事業部門の職員の給与にかかる費用
計	25,088,647,466	

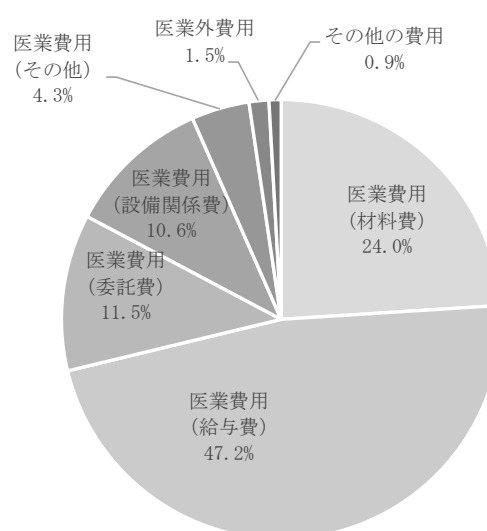
収入支出差引額 (円)	504,778,616
-------------	-------------

(2) 秦野赤十字病院

収入 7,249,352,403円



支出 7,057,306,555円



※構成比：小数点以下の四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

収入	決算額 (円)	主な内容
医業収益	6,748,263,307	診療行為などにかかる収益
入院診療収益 (室料差額収益を含む)	4,850,380,801	入院患者への診療行為にかかる収益
外来診療収益	1,697,937,039	外来患者への診療行為にかかる収益
その他医業収益	199,945,467	健康診断、人間ドックなどの保健予防活動にかかる収益
医業外収益	458,013,493	国、県、市などからの補助金収益
その他の収益	43,075,603	訪問看護ステーションの運営、固定資産売却による収益
計	7,249,352,403	

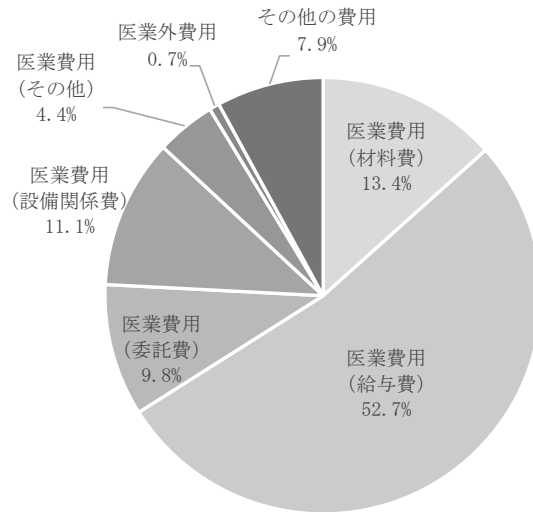
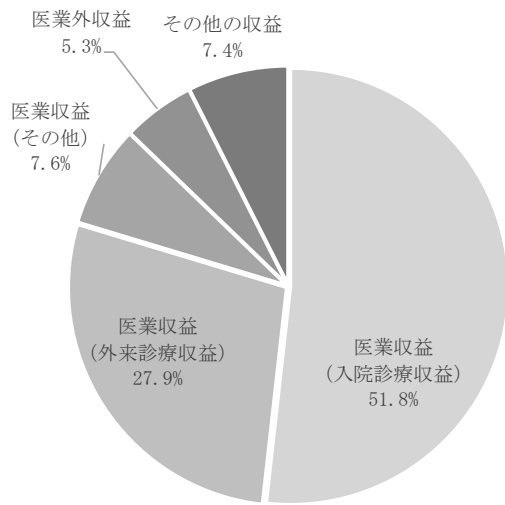
支出	決算額 (円)	主な内容
医業費用	6,891,524,762	診療行為などにかかる費用
材料費	1,693,195,728	医薬品、診療材料などにかかる費用
給与費	3,333,711,713	職員の給与にかかる費用
委託費	813,760,102	業務委託にかかる費用
設備関係費	749,832,421	減価償却、修繕、保守などにかかる費用
その他経費	301,024,798	水道光熱費、賃借料、消耗品費
医業外費用	102,775,418	支払利息、看護師の養成などにかかる費用
その他の費用	63,006,375	訪問看護ステーション及び医療社会事業部門の職員の給与、法人税にかかる費用
計	7,057,306,555	

収入支出差引額 (円)	192,045,848
-------------	-------------

(3) 相模原赤十字病院

収入 3,437,687,450円

支出 3,324,316,150円



※構成比：小数点以下の四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

収入	決算額 (円)	主な内容
医業収益	2,998,228,413	診療行為などにかかる収益
入院診療収益 (室料差額収益を含む)	1,779,815,574	入院患者への診療行為にかかる収益
外来診療収益	958,716,833	外来患者への診療行為にかかる収益
その他医業収益	259,696,006	健康診断、人間ドックなどの保健予防活動にかかる収益
医業外収益	183,621,486	国、県、市などからの補助金収益
その他の収益	255,837,551	訪問看護ステーション、市立診療所運営による収益
計	3,437,687,450	

支出	決算額 (円)	主な内容
医業費用	3,035,533,361	診療行為などにかかる費用
材料費	444,682,778	医薬品、診療材料などにかかる費用
給与費	1,750,252,485	職員の給与にかかる費用
委託費	325,486,971	業務委託にかかる費用
設備関係費	368,532,032	減価償却、修繕、保守などにかかる費用
その他経費	146,579,095	水道光熱費、賃借料、消耗品費
医業外費用	24,875,593	支払利息、看護師の養成などにかかる費用
その他の費用	263,907,196	訪問看護ステーション、市立診療所運営にかかる費用
計	3,324,316,150	

収入支出差引額 (円)	113,371,300
-------------	-------------

(参考) 県内赤十字施設職員数

(令和8年3月31日現在)

	医師・ 歯科医師	看護師・ 保健師・ 助産師	薬剤師・ 医療技術 職員	事務職員	その他 看護助手 調理師等	計
日本赤十字社神奈川県支部	0	0	0	39	0	39
神奈川県ライトセンター	0	0	0	48	0	48
横浜市立みなと赤十字病院	250	665	215	166	63	1,359
秦野赤十字病院	59	229	62	51	29	430
相模原赤十字病院	28	119	39	60	19	265
神奈川県赤十字血液センター	22	152	9	222	0	405
計	359	1,165	325	586	111	2,546

## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

## わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。

